

つくば市イメージキャラクター
フックン船長

もっと知りたい！

つくば市かわら版

第63号

2026年11月16日

皆さんのギモンに市長が答えます

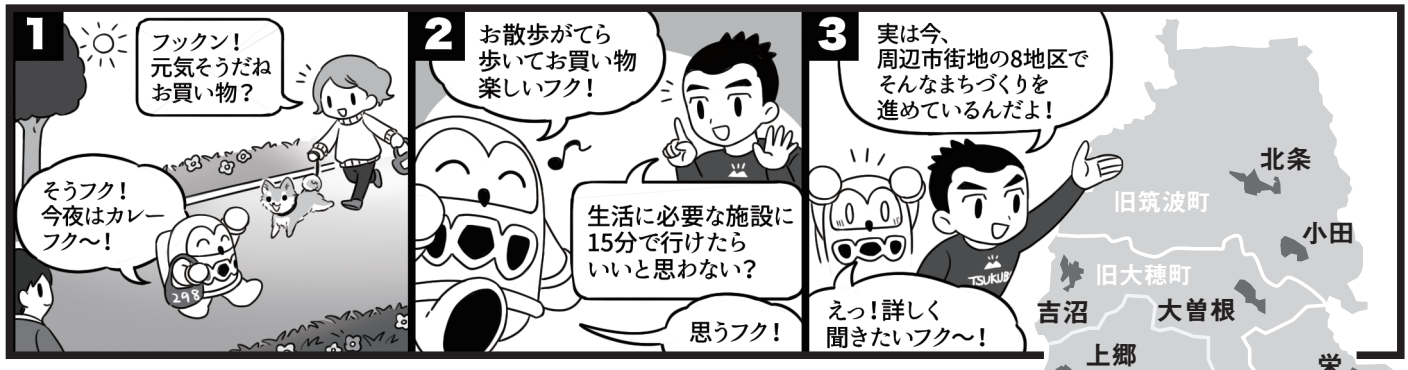


つくば市長　五十嵐立青

今回のテーマ

未来へと暮らしをつないでいく 持続可能な「15分都市」について教えて！

問 都市計画課





ギモン 01 持続可能な「15分都市」って、なに？

まずは、今のつくば市の成り立ちと現状をおさらいしてみよう。
1987年から2002年にかけて6つの町村が合併してできたつくば市。筑波研究学園都市の建設と、2005年のつくばエクスプレス（以下TX）開通を経て開発エリアに人口が増えている一方で、歴史ある旧町村の8市街地**「北条・小田・吉沼・大曽根・上郷・栄・谷田部・高見原」（周辺市街地）**の人口はほぼ横ばい。また、少子高齢化や商業施設の撤退による生活の利便性低下も課題になっているんだ。

今の課題
まちの変化に伴う周辺市街地の生活利便性の低下

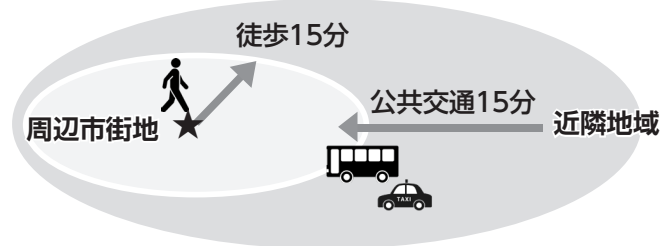
▶▶

歴史ある周辺市街地を「持続可能」な姿に再設計したい

そんな周辺市街地を盛り上げていくため、8地区では地域の皆さんと「活性化協議会」を立ち上げ、地域の特色を生かしたにぎわいあるまちづくりが今まさに進んでいるところなんだ。
そしてさらに！魅力ある周辺市街地をより「持続可能な」地域にするため、右の図のような**「15分都市」**という構想を市では進めているよ。
詳細は、次のページで説明するね！

市が目指す持続可能な15分都市

1 周辺市街地内では**徒歩15分**で生活に必要な施設に行ける
2 近隣地域から周辺市街地へ**公共交通15分**で行ける



問 ▶15分都市に関すること＝都市計画課 ▶周辺市街地に関すること＝周辺市街地振興課 ▶公共交通に関すること＝総合交通政策課

ギモン
02 持続可能な「15分都市」について詳しく教えて！

一体どんな機能をもったまちになるの？

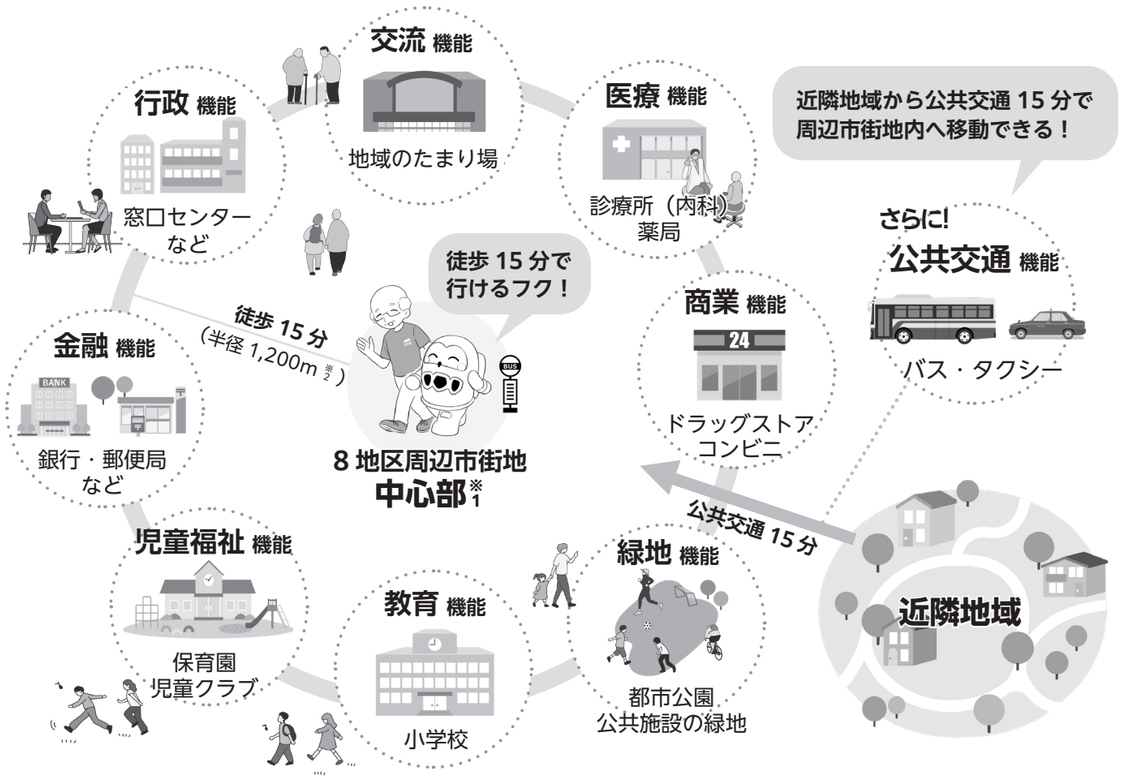
各周辺市街地の生活利便性をより良くした15分都市を実現するため、地域に不足している機能や充実させたい機能をまとめた**「コミュニティパッケージ」**（生活に必要な機能）と、より暮らしを豊かにする機能**「ウェルビーイングパッケージ」**※を設定し、地域とともに必要な機能の誘導をしようと考えているんだ。あわせて、15分都市の舞台となる8地区の周辺市街地の特徴についても紹介するね！　※「コミュニティパッケージ」と「ウェルビーイングパッケージ」はアメリカ・オレゴン州ポートランドのCompleteNeighborhood（コンプリートネイバーフッド）の考え方を参考に、市が独自に設定したもの

持続可能な「15分都市」ってどんなまち？ - 歴史あふれる8地区の周辺市街地が舞台！ -

周辺市街地中心部※1から徒歩15分圏域※2に以下の9つの機能を誘導し、その近隣地域からは公共交通15分で移動できるまち

※1地区の主要バス停などに設定　※2 徒歩80m/分（半径1,200m）

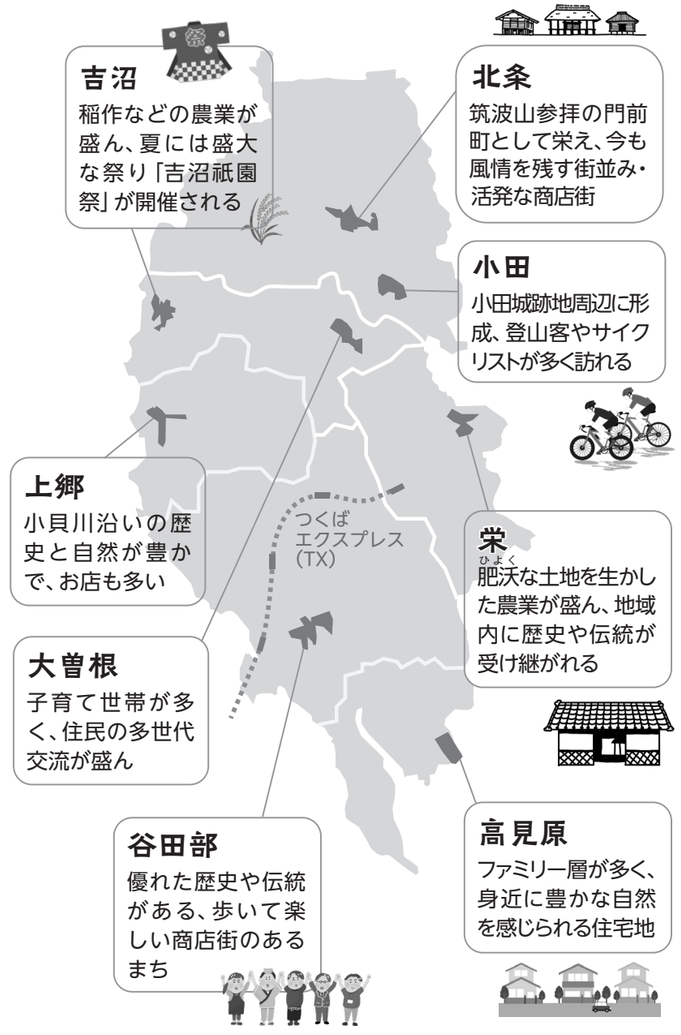
生活に必要な機能をそろえた コミュニティパッケージとは？



もっと豊かに! ウェルビーイングパッケージとは？

上記の9つの機能のほか、地域にあったら生活が楽しくなる機能（気軽に立ち寄れるカフェなど）を各地区が主体的に決定・誘導していきます。

魅力や歴史を教えて！ 周辺市街地ってどんなところ?



ギモン
03 どのように進めていくの？

今は何をしているの？

今は地区ごとの意見交換会などを通じて、地域に必要な機能や課題について丁寧に聞き取りしながら準備を進めているんだ。行政が必要なものを決めていくのではなく、皆さんの意見をしっかり聞いて必要とする機能を決めて、地域の実情に寄り添ったまちづくりを進めていきたいと考えているよ。意見交換会は不足している機能の多い地区から順に開催していて、2024年から現在にかけて上郷地区で3回、栄地区で3回、小田地区で1回行っているよ。今後は他の地区でも開催していく予定だよ。



意見交換会の様子

ともに創る地域コミュニティ

（仮称）上郷コミュニティセンターの整備を進めています！

意見交換会でいただいた意見などを参考に、上郷地区の旧結城信用金庫豊里支店を活用した施設の整備を進めています。地域住民の皆さんが主役となり、どんなことができるか楽しく考えながら、手作りで育てていく施設です。



2027年度前半オープン予定

所在地：上郷1638（旧結城信用金庫豊里支店）

問（仮称）上郷コミュニティセンター準備室

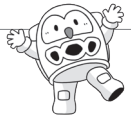
ギモン 04 持続可能な「15分都市」をつくっていくことで、市はどんな未来を目指しているの？



確かに便利になると思うけど、どうして15分都市なの？



町村合併の前から、何世代にもわたってその土地に住み続けてきた人たちがいる周辺市街地。そのまちを生活しやすい姿に再設計し、持続可能なかたちで未来に残していけるようにしたいんだ。
今、お店が増えたり人口が増えている地域だけでなく、周辺市街地も大切なつくば市の一部。特定の地域だけがにぎわい、それ以外の地域は衰退してしまう未来は悲しいよね。古きも新しきも大切にし、地域の手によって歴史と愛着のある土地の生活を守っていくことが、まちづくりとして最も大切なことだと考えているよ。
また、今だけの取り組みに終わらず、この先まちの姿がさらに変わっていっても、その土地に住む人たちが自ら考え、地域課題に対して必要な行動を起こせるようなコミュニティづくりもしていきたいんだ。
それが市が目指す持続可能な「15分都市」の姿だよ。



市が持続可能な「15分都市」で目指す姿

持続可能なまちへの再設計



生活しやすく利便性の高いまちへの再設計

＋

自走可能なコミュニティづくり



住民が自ら考え、地域課題に応じて必要な行動ができる

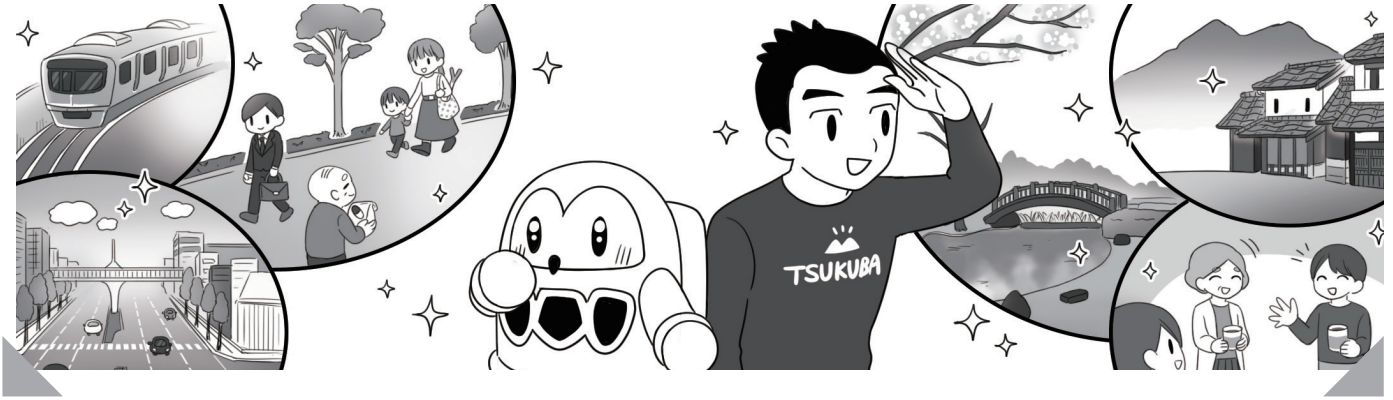
周辺市街地それぞれの魅力を生かした調和ある発展



それぞれの歴史と個性を大切にしながら、全ての地域で豊かに暮らせるまちづくりを進めていく

過去から現在、市が持つ価値を未来へつないでいくために

6町村が合併してできた歴史豊かなつくば市。さまざまな変遷のもと、今の姿になっています。時間とともにまちの姿は変化していきますが、皆さんの暮らしをより豊かな未来へとつないでいき、魅力あるまちとして親しまれるよう、ともに創る市政運営を進めていきます。



アンケートへのご協力をお願いします。

今後の発行の参考とさせていただきますので、**「もっと知りたい！つくば市かわら版 第63号」**をお読みになったご感想などをお寄せください。
（各号ごとのアンケートとなります）

※個別の質問にお答えすることはできません。

▶https://r.qrqrq.com/1XBbkuJf

パソコン　スマホ **でつくば市かわら版をいつでもどこでも！**

市ホームページ	マチイロ	市公式YouTube	声の広報	点字広報

発行： つくば市　〒305-8555　茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1
編集： 市長公室広報戦略課 TEL. 029(883)1111(代)